

2 安全で安心な地場農産物を安定的に生産する仕組みづくり

(1) 「安全・安心埼玉農産物フォーラム」を開催(10月20日)

農業や食に関する様々な分野で活躍している科学ライターの松永和紀氏により、「食卓の安全学」と題した講演が行われたほか、県農林部における食の安全・安心の取組についての展示発表が行われ、228名が来場した。



松永和紀氏の講演



農業施策等のパネル展示

(2) 「特別栽培農産物利用店」の拡大

県認証特別栽培農産物のPRとイメージアップを図るため、「埼玉県特別栽培農産物利用店指定制度」(平成15年7月制定)に基づき、平成21年3月までにレストラン・和風料理店など115店舗を指定した。



料理の一例と看板

(3) 特別栽培認証農産物の拡大

特別栽培農産物の平成20年度認証面積は、前年に対し109ha増の1,625haとなった。品目別では、水稲が最も多く全体の55%、野菜と水稲を合わせると全体の91%を占める。次いで大豆、茶、その他、果樹、そば、麦類、の順となっている。



特別栽培農産物の販売風景

認証農産物栽培面積等の推移 (単位: 戸、ha)

項目	13年度	14	15	16	17	18	19	20
農家数	1,919	2,592	2,887	2,948	2,576	2,492	2,646	2,607
面積	525	742	919	1,212	1,234	1,458	1,516	1,625

(4) 安全で安心な農産物の確保対策の推進

GAP（生産から出荷に至る全ての農作業の工程で安全性等をチェック・管理する手法）を普及推進するため、生産現場での指導者を養成するとともに、生産者に対する啓発とモデル集団の育成に取り組んでいる。平成20年度までに15のモデル集団が育成されている。

また、農薬の適正使用を推進するため、農林振興センター等に残留農薬簡易分析機器を設置し、技術指導に活用している。JAふかやなど4農協等に対しては、残留農薬自主チェックシステム確立に向け、技術情報の提供等を行った。



GAPによる衛生管理に
取り組む選果場

(5) 地域におけるブランド農産物の育成

各界の専門家からなる「埼玉農産物ブランド化戦略会議」を設置（平成17年9月）し、埼玉農産物のブランド化を推進している。

埼玉農産物のブランド化と販路拡大を図るため、県と農業団体が連携して、10月～12月に都内及び県内において、県民に埼玉農産物を「見て」「知って」「味わって」いただく、埼玉農産物集中キャンペーンを実施した。県内の農産物直売所やスーパーなど157か所において、新米の「彩のかがやき」や旬を迎えたブロッコリーなど埼玉農産物を多くの方に味わっていただいた。



「埼玉ブランド農産物」のPRロゴマーク



埼玉農産物ブランド化戦略会議

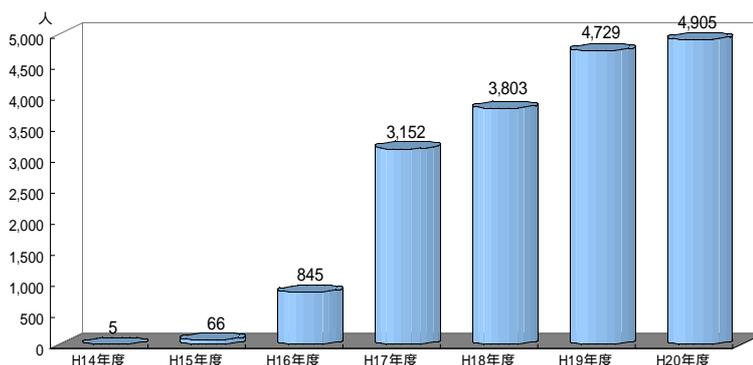
(6) エコファーマー認定数の拡大

環境にやさしい農業への取組拡大のため、「エコファーマー」の認定を進め、平成20年3月末現在で4,905人に増加した。

エコファーマーとなった生産者は、全国共通の「エコファーマーマーク」を活用し、環境にやさしい農業に取り組む産地イメージを積極的にPRしている。



エコファーマーマーク



エコファーマー認定推移（H21.3現在）

（7）農畜産物におけるトレーサビリティシステムの推進

畜産会や全農埼玉県本部等と連携し、「彩の国畜産物生産ガイドライン」に基づき生産された畜産物を対象に、生産・流通履歴情報を公開したモデル販売が行われている。

また、三芳すこやか部会、埼玉県産直協同トレーサビリティ部会などの集団が扱う野菜の生産履歴情報の公開や全農埼玉県本部と連携した県内系統野菜の生産履歴管理について拡大を推進している。

その他、「Aほくさいの三田ヶ谷米クラブで減農薬栽培された県育成品種「彩のかがやき」や入間市他で生産されているお茶など、幅広い品目について取組を進めている。



深谷牛の牛肉パックの表示

トレーサビリティに対応している品目

品名	生産戸数	主な公開情報
深谷牛 （和牛）	5戸 （深谷市）	生産者情報、10桁耳標番号、 牛の生年月日・と畜日、飼養方法
彩の夢味牛 （交雑牛）	7戸 （深谷市他）	
彩の国黒豚	6戸 （深谷市他）	証明番号、生産者情報、 豚のと畜日、飼養方法
愛彩豚	2戸 （深谷市他）	
彩の国地鶏 タマシャモ	5戸 （坂戸市他）	生産者情報、飼養期間、飼養方法
彩たまご	2戸 （熊谷市他）	採卵農場、給与資料、 サルモネラ菌検査成績
野菜	1,329戸	生産者情報、品目・品種 肥料・農薬の使用状況
米 （彩のかがやき）	13戸 （羽生市）	生産者情報、集荷日、出庫日、 精米日、肥料・農薬の使用状況
お茶	135戸 （入間市他）	生産者情報、品種、 肥料・農薬の使用状況